

11月のてがたんは雨のため、中止になりました。当日は館内でコガモを中心にカモのエクリップスについてお話をしました。下見の観察記録と、当日の市民スタッフの観察記録からレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回12月の「てがたん」は12月12日(土)で「冬の散歩道」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

11月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→漁協前→手賀沼遊歩道
- 観察日時／天気
 - 2015年11月7日(土) 10:00~12:00 / 晴れ (下見)
 - 2015年11月14日(土) 10:00~12:00 / 小雨
- 室内会参加人数 2人(一般2人)
- 市民スタッフ 8人(伊東茂子、木村 稔、窪田憲史、小泉伸夫、須貝基康、竹本周平、松村定雄、水上香苗)
- 鳥博職員 1人(塩田いづみ)

観察記録 — 11月てがたんで観察した生き物リスト—

【鳥類】

キジ科：キジ／カモ科：オカヨシガモ、オナガガモ、カルガモ、コガモ／カイツブリ科：カイツブリ、カンムリカイツブリ／ハト科：キジバト／ウ科：カワウ／サギ科：コサギ、ダイサギ／クイナ科：バン、オオバン／カワセミ科：カワセミ／カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス／シジュウカラ科：シジュウカラ／ヒヨドリ科：ヒヨドリ／エナガ科：エナガ／メジロ科：メジロ／ムクドリ科：ムクドリ／ヒタキ科：ツグミ、ジョウビタキ／スズメ科：スズメ／セキレイ科：ハクセキレイ／アトリ科：カワラヒワ、シメ／ホオジロ科：アオジ／外来種や家禽：コブハクチョウ、ドバト

【昆虫・クモ】

バッタ科：オンブバッタ／コオロギ科：カナタタキ、マダラスズ、シバズ／イラガ科：イラガ(繭)／サシガメ科：ヨコヅナサシガメ／ジョロウグモ科：ジョロウグモ

【花・植物】

ユリ科：タカサゴユリ／キク科：セイヨウタンポポ、タカサブロウ、オオジシバリ、ノゲシ、オニノゲシ、ヒメジョオン、ハキダメギク、コセンダングサ／タデ科：イヌタデ、ミソソバ／シソ科：ホトケノザ／オオバコ科：オオイヌノフグリ／ナデシコ科：ウシハコベ／キツネノマゴ科：キツネノマゴ／ウコギ科：ヤツデ／クスノキ科：シロダモ／ツバキ科：サザンカ

【木の実・草の実】

クスノキ科：クスノキ、シロダモ／アケビ科：アケビ／メギ科：ナンテン／アサ科：エノキ、ムクノキ／マメ科：ニセアカシア／ブナ科：ウバメガシ／アオキ科：アオキ／モクセイ科：トウネズミモチ／イネ科：チカラシバ、カゼクサ、メヒシバ／キク科：コセンダングサ／ヒユ科：アカザ、ホソバアオゲイトウ、イノコズチ／ヤシ科：シュロ／アカネ科：ヘクソカズラ

【その他】

サルノコシカケ科：ヒイロタケ

11月の観察アルバム



今回のてがたんのテーマは「カモいろいろ」でした。下見ではコガモやオナガガモ、オオバン、ダイサギ、カンムリカイツブリ、カワセミなどが観察できました。



今月の案内人 須貝基康さん



水上香苗さん



1 オオバンが芝生にあがって何か採餌していました。



2 オナガガモの♂もエクリプスから生殖へ換羽中です。



3 シロダモの黄色い花。花の咲いた翌年の秋に実がなります。



4 花と実が同時に見られるシロダモ。実は昨年咲いた花の実です。

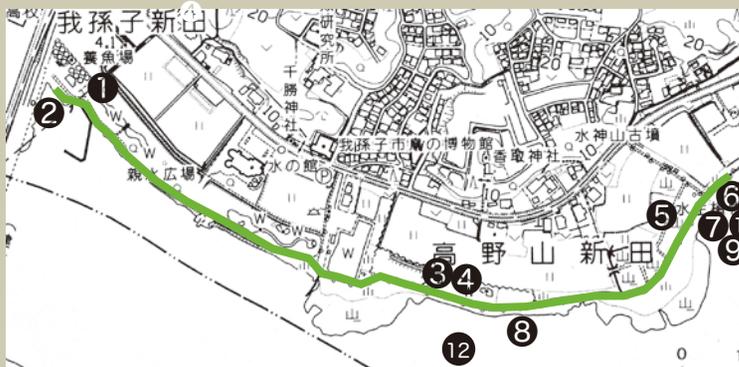


5 ハキダメギクの花



6 コガモ♂幼羽から生殖羽へ

脇にさざ波模様が出始めているので♂とわかります。また脇の羽の模様がV字状で尖り気味なのが幼羽の特徴です。



11月てがたんの観察生物とルート



7 コガモ♂成鳥

頭に♂の特徴がはっきり出ています。成鳥の脇の羽の模様は幼鳥よりも丸みを帯びます。



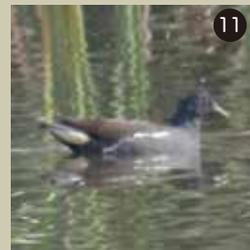
8 異様に長く見えるダイサギの首。



9 カワセミがずっとヨシにとまっていました。



10 額板の小さい今年生まれのオオバンが、群れていました。



11 バンが泳いでいました。下尾筒の白い三角斑がよく見えます



12 顔にしま模様が残っているカンムリカイツブリの幼鳥。

今月の鳥 コガモ (カモ目カモ科)

【分布】 ユーラシア大陸と北アメリカ大陸に繁殖分布し、冬は大陸南部に渡ってすごします。

【生息地】 冬は河川、湖沼など淡水域の水系に多く、ヨシなどが生える岸边近くの水草の間にいることが多い。

エクリプス

カモのオスは、繁殖後の換羽によってメスに似た地味な羽色になります。このエクリプスは保護色の役目を持ちます。エクリプスという言葉のもとの意味は月食や日食のことで、光を失うという意味で使われているようです。



コガモ オス 繁殖羽